



令和5年度 渋谷区立代々木山谷小学校 学校経営方針

【教育目標】

思いやりのある子 相手の立場を理解する 相手の喜びを自分の喜びにする
考える子 広い視野から 経験を生かす 工夫して考える
元気な子 心身ともに健康 常に前向き 進んで体を鍛え、自らを高める

【目指す学校像】

地域の中の学校としての役割を果たし、学校、保護者、地域が一体となった学校
子どもも大人もやりがいを見付け、自己実現が図れる学校。

【取組の重点】

- 1 人権尊重教育の推進
 - (1) 相手の立場を理解して、思いやる心を育てる。
 - (2) 差別や、偏見をなくす意識を高めさせる。
- 2 基本的生活習慣の定着 規範意識の醸成
 - (1) 「返事・挨拶・後始末」を徹底させる。
 - (2) 時間を守る、大切にすること。 当たり前のことを当たり前に行えるようにする。
- 3 言語活動の充実
 - (1) 正しい日本語を習得させて、使えるようにする。
 - (2) 時と場に応じた言葉を使うようにする。＜丁寧語、敬語、「ら抜き言葉」＞
- 4 特別活動の充実
 - (1) 温かな学級
 - ・一人一人の長所も短所も認め合える学級にする。
 - (2) 学級活動の充実
 - ・一人一人が役割を果たし、協力して学級をよりよくしようとする気持ちをもたせる。
 - ・学級に貢献できる喜びを味わえるようにする。

(3) 縦割り班活動

縦と横のつながりを強める。高学年児童がリーダーシップを発揮して、充実感をもてるようにする。

5 学習内容の習得と活用

(1) 基礎・基本的事項を習得させる。

(2) ICT機器を効果的に活用できるようにする。

(3) 話し合い活動を効果的に活用する。

自分の考えをもつ → 友達との意見交換（ペア、グループ） → 自分の考えと比べる
→ よりよい考えへ発展させる → 全体で意見交換する

6 読書活動の充実

(1) 文字から伝わる語感を読み取り、想像力を育てる。

(2) 心を安定させる。心の豊かさを育てる。

7 人との関わり

(1) 調整力を身に付けさせる。

- ・トラブル処理能力を身に付けさせる。
- ・譲るところは譲る。人と折り合いを付ける力を身に付けさせる。
- ・相手の立場を考えられるようにする。

8 健康増進と体力の向上

(1) 基礎体力の構築

- ・体を動かすことの楽しさを実感させる。
- ・運動の日常化と外遊びを推進させる。

(2) 食育と安全指導を充実させる

- ・給食指導を中心とした食育の充実
- ・安全指導、避難訓練を通して自ら考え、実践できる態度の育成

(3) オリンピック・パラリンピック教育継続事業の推進

- ・競技者の姿勢や優れた技術などから生き方を学ぶ
- ・相手(国)を思いやる態度の育成

9 副担任制による指導（サポート）

(1) 複数教員による給食指導

(2) 学年所属によるサポートの推進

10 交通事故0（ゼロ）

(1) 町会、地区委員会、警察のサポート

(2) 大人も子どもも交通法規の遵守